

WDT

1. 動作概要

- ・ マクロ"WDT_DEMO_CLEAR"が定義されていない場合
プログラム実行状態(LED点滅状態)から、ウォッチドッグタイマによりNMI割込みが発生することで全LEDが消灯する。
- ・ マクロ"WDT_DEMO_CLEAR"が定義されている場合
プログラム実行状態(LED点滅状態)から、クリアコードを定期的書き込むことでカウンタがクリアされるため、NMI割込みが発生せずプログラム実行状態(LED点滅状態)のまま変わらない。

2. 各設定

ウォッチドッグタイマ検出時間 : default = 2²⁴/fcgck main.c : "#define WDT_DETECTION_TIME"の値を変えることでWDT検出時間を変更できます。

8 ビットアップカウンタクリアのクロア時間の設定 : default = オーバーフロー時間の1/2 main.c : "#define WDT_COUNT_CLR_TIME"の値を変えることでカウンタクリア時間を変更できます。

LED : LED0(Port25)
: LED1(Port26)
: LED2(Port27)
: LED3(Port11)

LED点滅周期 : 1s点灯→1s消灯を繰り返す

3. 基本動作

通常状態 LEDが点滅。ウォッチドッグタイマの検出によりLEDが消灯される。
クリアコードを定期的書き込むかどうかはマクロ"WDT_DEMO_CLEAR"の定義による。

4. 特記事項

特になし